

令和5年度新潟県原子力防災訓練について

市町村研究会実務担当者会議資料

令和5年7月27日

新潟県防災局原子力安全対策課

令和5年度新潟県原子力防災訓練（総合訓練）

【日 時】

令和5年秋（調整中）

【目 的】

- （1）新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）に基づき、国、県、市町村及び防災関係機関の相互の連携による防災対策の確立及び防災業務関係者の防災技術の習熟を図る。
- （2）住民の参加により、県原子力災害広域避難計画の検証及び原子力災害発生時の避難対応力の向上を図るとともに、原子力防災に対する理解の向上を図る。

【参加機関】

県、市町村、内閣府、原子力規制庁、防災関係機関、東京電力HD（株）など

【訓練想定】

柏崎市、刈羽村等で震度6強の地震が発生し、唯一運転中の柏崎刈羽原子力発電所7号機において、原子炉が自動停止。その後、炉心冷却機能の一部が喪失し施設敷地緊急事態となり、炉心冷却機能が喪失し全面緊急事態となる。その後、炉心が損傷し、放射性物質が放出され、一時移転が必要な空間放射線量の上昇が認められた状況になる。

1. 令和5年度新潟県原子力防災訓練（総合訓練）

【訓練項目(案)】

※令和4年度実施訓練項目

- ① 県災害対策本部等運営訓練
- ② オフサイトセンター運営訓練
- ③ 緊急時通信連絡訓練
- ④ 緊急時モニタリング訓練
- ⑤ 学校等における児童の保護者への引渡し訓練
- ⑥ 道路啓開訓練
- ⑦ PAZ内放射線防護対策施設の屋内退避訓練
- ⑧ PAZ内住民の避難訓練
- ⑨ UPZ内住民の屋内退避訓練
- ⑩ UPZ内住民の一時移転訓練
- ⑪ 物資搬送訓練
- ⑫ 安定ヨウ素剤緊急配布訓練
- ⑬ スクリーニング・簡易除染訓練
- ⑭ 交通規制訓練
- ⑮ 広報活動訓練

2. 令和5年度原子力防災訓練（個別訓練）

<p>緊急時モニタリング訓練 7月28日(金)</p>	<p>場 所: 県放射線監視センター(柏崎市) 参加機関: 県、柏崎刈羽原子力規制事務所、東京電力 内 容: 緊急時モニタリングに関わる、県・国・東京電力の職員の技術習熟を図るため、環境試料(飲料水や土壌)の採取、可搬型MPの設置、走行測定、要員の汚染管理、試料の核種分析等の訓練を実施する。</p>
--	---

※ そのほか、個別訓練を追加する可能性あり

※ 【参考】令和4年度原子力防災訓練(個別訓練)

<p>緊急時モニタリング訓練 7月29日(金)</p>	<p>場 所: 新潟県放射線監視センター 参加機関: 県、柏崎刈羽原子力規制事務所、東京電力ホールディングス など 内 容: 放射性物質放出後を想定し、走行モニタリング、環境試料採取等の訓練を実施</p>
<p>夜間避難訓練 8月29日(月)</p>	<p>場 所: 刈羽村源土運動広場 参加機関: 県、刈羽村、陸上自衛隊、海上自衛隊 など 内 容: 夜間における原子力災害を想定し、陸上自衛隊のヘリコプターによる住民避難訓練を実施</p>
<p>冬季避難訓練 2月8日(水)</p>	<p>場 所: 県庁、柏崎市、刈羽村 参加機関: 県、柏崎市、刈羽村、北陸地方整備局、NEXCO東日本、東京電力ホールディングス など 内 容: 積雪時に地震により原子力災害が発生したことを想定し、県災害対策本部において対処方針を決定する本部運営訓練や、PAZ市村において住民避難訓練を実施</p>